

主催事業

「第1回 キャンプ補助員トレーニングキャンプ」

1. ねらい

- (1) キャンプ補助員の業務、心得について再確認し、理解を深めます。
- (2) 入所オリエンテーションや自炊オリエンテーション等、オリエンテーションの基本的な知識と技術を確実に習得します。
- (3) 野外炊飯における支援、特に利用団体からの支援希望が多いキャンプファイヤーの資質の向上を図ります。
- (4) 所員とキャンプ補助員との関係を深めるとともに、利用者に対する支援の意思統一を図ります。

2. 実施日

令和6年4月21日(日)

3. 対象者

当センターのキャンプ補助員登録者及び希望者
(大学生・短期大学生・専門学校生)

4. 募集定員／応募人数／参加人数

5人／5人／5人 現補助員5人を含め計10人

5. 当日のスケジュール

4月21日(日)

9:00 入所式

9:15 自己紹介・アイスブレイク

10:00 入所オリエンテーション
ベッドメイキング練習

11:15 火起こし練習

飯ごうでごはんを炊く 昼食

13:40 薪組・キャンプファイヤー準備

14:30 キャンプファイヤー

15:30 退所式・ふり回り

16:30 退所

現役キャンプ補助員5名、一般参加者5名の計10名で「第1回キャンプ補助員トレーニングキャンプ」を実施しました。一般参加者は、初めは緊張した様子でしたが、アイスブレイクを通して徐々に雰囲気が和らいできました。



入所オリエンテーション練習では、家族向けと団体向けそれぞれの内容確認を行いました。熱心に取り組み、お互いのオリエンテーションを見せ合い、学び合いました。和やかな雰囲気の中で行われ、実りあるものとなりました。



火付け練習はキャンプ補助員の経験年数ごとにハンデをつけて行いました。一般参加者は、なかなか火がつかず、苦勞していましたが、キャンプ補助員のアドバイスで全員火をつけることができました。みんなが起こした火で、ごはんを炊いて昼食にしました。



その後、薪組やキャンプファイヤーの準備について基本を確認しながら行いました。キャンプファイヤー本番では、所員の進行のもと参加者として楽しくゲームを行うとともに、支援者としてどのような配慮をしていけばよいかを確認することができました。



ふり回りでは、キャンプ補助員が昨年よりもできていることが増えたと、自分たちの成長を感じている感想が多かったです。

6. まとめ

キャンプ補助員・所員ともに、野外活動の技術の向上を図るとともに、キャンパーへの支援のあり方をしっかりと学ぶことができました。これからの繁忙期に向けて、今回学んだことを生かせるような良いトレーニングキャンプでした。

「第2回 キャンプ補助員トレーニングキャンプ」

1. ねらい

- (1) キャンプ補助員の業務、心得について再確認し、理解を深めます。
- (2) 施設内の植物に対する知見を深め、支援に活用できるようにします。
- (3) 野外炊飯における支援、特に利用団体からの支援希望の多いキャンドルサービスの資質の向上を図ります。
- (4) 所員とキャンプ補助員との関係を深めるとともに、利用者に対する支援の意思統一を図ります。

2. 実施日

令和6年10月20日(日)

3. 対象者

当センターのキャンプ補助員登録者及び希望者
(大学生・短期大学生・専門学校生)

4. 募集人数／応募人数／参加人数

10人／7人／7人

5. 当日のスケジュール

10月20日(日)

9:15 入所式

9:30 自己紹介・アイスブレイク

10:00 自然観察とセンター案内

11:15 火付け・焼きそば自炊

13:30 キャンドルサービスの企画と運営

14:30 キャンドルサービスの実践

15:30 退所式・ふり回り

16:15 退所

現役キャンプ補助員6名、一般参加者1名の計7名で「第2回キャンプ補助員トレーニングキャンプ」を実施しました。

アイスブレイクでは、活動を実践するとともに、より効果的に活動をするためのコツを学びました。参加者がゲームの内容を理解する方法や、アイスブレイクのゲームについて、順序などの工夫に参加者自身が気付き、ほかの参加者に伝えていました。参加者の主体的な学びが印象的でした。



その後、センター内の案内とともに、自然観察を実施しました。参加者は自然に対する知識をつけながら、自然物を用いた遊び方を学びました。ホオノキの葉で飛行機を作ったり、笹などの葉で笛を鳴らしたりするなど楽しみながら活動していました。



昼食は焼きそばの自炊をしました。今回は石を積み上げて、自分たちの竈を作り、その上に鉄板を乗せて調理しました。石の形を考えながらバランスの良い竈を作ることに苦勞していましたが、それぞれのグループで相談し、無事においしい焼きそばを作ることができました。

昼食後は、キャンドルサービスについての知識を学び、実際に実施しました。キャンプファイヤーは経験したことがある在籍キャンプ補助員は多いですが、キャンドルサービスはほとんど初めてだったため、多くの学びがあったようでした。初めての参加者も楽しみながらキャンドルサービスのゲームに参加していました。



6. まとめ

前回のキャンプ補助員トレーニングキャンプの基本的な技能習得とは異なり、今回は参加者が楽しみながら、新しい知識や技能を学ぶ内容で実施しました。キャンプ補助員の魅力を参加者にも感じてもらえたと思います。キャンプ補助員の活動は多岐に渡るため、すべての活動を紹介することは難しいですが、普段の生活では味わえない体験をすることができたと感じました。